

まちづくり交付金 フォローアップ報告書
中地区

平成20年10月

兵庫県多可町

フォローアップ状況

様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	事後評価より達成度が低い場合		備考 (仮に確定値が出せない場合の理由等)	
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
指標1	歩行空間整備率	%	64.2	90.3	90.3	確定 見込み	○	○	あり なし	90.3	20年10月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標2	歩行移動時間	分	17	14	14	確定 見込み	○	○	あり なし	14	20年10月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標3	建替町営住宅入居者平均年齢	歳	50.1	45.0	39.5	確定 見込み	○	○	あり なし	41.7	20年10月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標4	来訪者数	人/年	22万	25万	20万	確定 見込み	○	×	あり なし	20万	20年10月	×	県立余暇村公園の陳腐化により事業効果が発揮出来なかった。 <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み			あり なし				<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1から転記

様式1-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	事後評価より達成度が低い場合		備考 (仮に確定値が出せない場合の理由等)	
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
その他の数値指標1	那珂ふれあい館来訪者数	人/年	1.4万	/	1.6万	確定 見込み	○	/	/	1.6万	20年10月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2			/	/	/	確定 見込み		/	/				<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3			/	/	/	確定 見込み		/	/				<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1から転記

様式1-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート様式6-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	まちの景観をさらに美しく	自主的な清掃活動 自然豊かな里山整備と有効活用	地域の河川・道路等の美化活動を通し、地域への愛着が深まった。また、住民相互の新たな交流の創設に繋がった。	
	ともに生きる	地域行事への参加 人権学習等生涯学習の開催	地域の伝統文化にふれ合うことにより、住人相互の交流が更に深まり、地域の活性に繋がった。	
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策				

様式1-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
		○年○月	
		○年○月	
		○年○月	
		○年○月	

都市再生整備計画(精算報告)

なか
中地区

ひょうごけん たかちょう
兵庫県 多可町

平成20年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	兵庫県	市町村名	多可町	地区名	中地区	面積	260 ha
計画期間	平成 16 年度 ~ 平成 19 年度	交付期間	平成 16 年度 ~ 平成 19 年度				

目標	<p>～歴史街道がつなぐ、都市・田園・歴史・自然のまちづくり～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史街道による賑わいのあるまちづくり ・将来を担う若者の定住を促進するまちづくり ・自然や歴史から学ぶ心豊かな人づくり
----	--

<p>目標設定の根拠</p> <p>まちづくりの経緯及び現況</p> <p>多可町中地区は播磨内陸部に位置し、中区中央部には杉原川が流れ、周囲は緑豊かな里山に囲まれている。中区の中心市街地には、町役場、公共施設等が集積し、その周辺には田園景観を形成する田園ゾーンが広がっている。また、中区北部の妙見山周辺には東山古墳群、県立北播磨余暇村公園、町立那珂ふれあい館（ビジターセンター）等が立地し、自然保養レクリエーションゾーンを形成しており、都市・田園・歴史文化・自然が調和した環境を有している。</p> <p>このような中、平成13年度には国土交通省近畿地方整備局から歴史街道モデル地区に認定され、これを契機に中区内全ての集落でワークショップによるまちの資源の再発見を行い、歴史街道計画整備プランの策定に至った。現在では、むらづくり協議会へと発展し、地域のPR看板、花回廊づくり等が行われており、「あかね坂公園」においては国土交通省の”手づくり郷土賞”に選ばれた。さらに、多可町を含む北播磨地域1市1町（旧1市4町）では地域の歴史資源や自然環境を博物館の展示物と見なした”エコミュージアム”づくり（田園空間整備事業 農林</p> <p>これらを背景に、中区では地域住民及び来訪者が快適に歩ける道づくりを進め、歩道を分離した都市計画道路等の基幹道路の整備を積極的に実施してきた。しかし、これらを結ぶ町道においては、幅員狭小な未整備区間が残っており、安全な歩行者ネットワークが十分な状況ではない。</p> <p>このような中区において、世帯数は増加傾向にあるが人口は微減傾向にあり、少子高齢化が進んでいる。そこで中区では、今後の高齢化社会への対応並びに環境問題への対応を図ると共に、都市・田園・歴史文化・自然を結び、誰もが暮らしやすいまちづくりの推進に向け、町内を循環するコミュニティバスを平成15年11月より運行している。</p> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内の国道、県道、都市計画道路の整備は着実に進んでいるが、これらを結ぶ町道における歩道整備が十分な状況ではないため、基幹道路の歩道、遊歩道並びに主要施設間を有機的にネットワークするよう、歩行者の安全性並びに町内の回遊性を向上する道路整備が必要である。 ・住民によるまちづくりを積極的に行ってきたが、少子高齢化に伴いまちづくり活動や将来のまち育て活動への影響が懸念される。そこで、結婚等ともなう公営住宅への入居需要に応え、今後のまちづくり、まち育てを担う若者の定住を促進するため、公営住宅の建替えによる良好な住宅供給が必要である。 <p>将来ビジョン(中長期)</p> <p>第3次中町総合計画(旧町)では「里山・田園・水につつまれた暮らしのまちづくり」、「だれもが生涯を過ごせる安心のまちづくり」、「にぎわいあふれる交流のまちづくり」等、6つの基本目標のもと、まちづくりの実現に向けた戦略的プロジェクトとして、『若者定住に向けた住宅の整備』、『妙見山周辺地域交流ゾーン整備(歴史街道拠点整備)』、『中町を循環する観光ネットワークの形成』等が位置づけられている。これに基づき中区では、地域資源の活用を図りながら、住民一人ひとりが主人公となるまちづくりを進めている。</p> <p>また、中町住宅マスタープラン(旧町)では、「まちを住みよくする」、「まちを美しくする」、「まちの歴史や文化を研ぐ」、「まちににぎわいをつくる」といった基本方針を掲げている。このような中、公営住宅は、若者の定住を促す住宅の供給、高齢者や障害者に配慮した住宅の供給及び中心市街地活性化の先導等の役割を担い、既存ストックの活用による相当数の住宅整備を進めることとしている。特に、奥中団地(建替推進団地)など、耐用年数が経過している町営住宅については、建替を進めることとしている。</p>

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性		目標値		目標年度
			従前値	基準年度	従前値	目標年度	
歩行空間整備率	%	歩行空間整備率=歩行空間整備延長/計画区域内道路延長 ※1: 国道、県道、1級町道、2級町道の延長	歴史街道に相応しい歩行者ネットワークの充実したまちづくりを進めるため、計画区域内道路の歩行空間整備率を高め、散策コース設定路線では100%の整備率を目指す。	64.2%	平成16年度	(91.0%) 90.3%	平成20年度
歩行移動時間	分	歩行移動時間=道のり÷歩行速度	町営奥中団地の立地する奥中地域やさらに西側の徳畑地域といった中町西部ゾーンと防災拠点である中央公園(町民グラウンド)とのアクセスが不十分であることに対して、歩行移動時間の短縮を目指す。	17分	平成16年度	14分	平成20年度
建替町営住宅入居者平均年齢	歳	入居者平均年齢=入居者年齢の総和/入居者数	田園ゾーン内の町営住宅に若者が入居することによる、多自然居住への足掛かりに向け、30歳代前半の新規入居による平均年齢の低下を目指す。	50.1歳	平成16年度	45歳	平成20年度
来訪者数	人/年	県立余暇村公園及び町立那珂ふれあい館への来訪者実態調査による	自然体験や歴史資源を通じての様々な学習による心豊かな人づくりを進めると共に、コミュニティバスや歩道整備によるアクセシビリティの向上による交流拠点の形成を図り、賑わいのあるまちづくりに向け、県立余暇村公園と町立那珂ふれあい館の来訪者数の増加を目指す。	22万人/年	平成16年度	25万人/年	平成20年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1（歴史街道のネットワーク）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多可町中区内には旧JＲ鍛冶屋線を利用した遊歩道” 歩っ歩の道（ほっほのみち）”をはじめ、南北方向の歩行ルートは比較的整備されていることから、これらをネットワークし、中区中心部の公共公益施設及び中区北部の自然保養レクリエーションゾーンへの回遊性を高め、歴史街道モデル地区に相応しい、誰もが安全に安心して歩ける道づくりを行う。 ・多可町中区中心部の公共公益施設及び中区北部の自然保養レクリエーションゾーン等を結ぶ歩行者ネットワークをサポートし、歩行者が快適に歩けるよう、歩行者用の案内標識を設置する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・町道丘山渡瀬橋線他4路線整備事業（基幹事業・道路） ・都市計画道路中町西線他5路線整備事業（関連事業・道路）
<p>整備方針2（若者定住の促進）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田園ゾーンに立地する町営奥中団地の建替えにより若者の新規入居を推進し、まちづくり、まち育ての担い手づくり並びに多自然居住への足がかりとなるよう、居住環境や景観に配慮した魅力ある町営住宅の再生を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・町営奥中団地建替え事業（基幹事業・公営住宅等整備）
<p>整備方針3（自然や歴史から学ぶ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北はりま田園空間博物館（エコミュージアム：農水省）の新規展示物（サテライト）でもある町立那珂ふれあい館（ビジターセンター）は、埋蔵文化財センター及び資料館等の複合的な機能を有しており、本施設周辺の東山古墳群、県立余暇村公園と一体的に利用可能な歴史・自然ゾーンを形成し、町内外からの利用促進を図るよう、道路整備、案内標識設置等を行う。 ・町立那珂ふれあい館へのコミュニティバス乗り入れにより、歴史・自然ゾーンのさらなる利用促進を図るため、町立那珂ふれあい館にコミュニティバス停留所を新設する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・町道県民余暇村公園線整備事業（基幹事業・道路） ・都市計画道路中町西線他整備事業（関連事業・道路）
<p>その他</p>	
<p>○まちづくりに向けた地元の熱意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中町では歴史街道モデル地区に認定されたことを契機に、町内全ての集落でワークショップによる”まちの資源の再発見”を行った。その後、むらづくり協議会へと発展し、現在では16団体が地元PR看板や花回廊づくり等を積極的に行っている。 ・地域の課題や計画づくりは各協議会、庁内検討組織（まちづくり検討会）、住民代表による検討会（ふだん着会）等によりH12年度から検討を進めてきた。 ・有識者、住民、行政で組織された”東山古墳群検討委員会”においても、町内の豊かな自然と歴史資源をネットワークすることで、兵庫県下でも有数の交流拠点を形成することが可能であるとの意見を受けている。 <p>○事業の熟度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市再生整備計画に掲げている事業は、全て住民の参画により計画したものであり、事業について合意形成が図られている。 ・町営住宅建替え事業、町道丘山渡瀬橋線、町道役場公民館線、についてはH16年度予算措置済みであり、早期に事業着手が可能。 ・歩行者用案内標識設置についてもH16年度からの着手可能。 ・中町では住民主体のまちづくりを実施しているところであるが、行政ではこれらハード面の事業を支援すると共に、コミュニティバスの運行により、誰もが暮らしやすいまちづくりを実施している。 <p>○事業終了後の継続的なまちづくり活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路植栽の維持管理や公園管理の里親制度を既に実施しており、本事業終了後においても地元での維持管理は継続。 ・都市再生整備計画に掲げている事業は、全て住民の参画により計画したものであり、これまでの地元の活動と同様に、事業終了後もまちづくり活動は継続する。 ・現在、歩っ歩の道を利用したウォーキングが活発に行われており、本事業による歩行空間のネットワーク化により、さらなる利用促進が期待できる。これを契機に、歩っ歩の道の里親制度を誘導し、これまで以上のまちづくり活動に発展させたい。 ・NPO法人「北はりま田園空間博物館」では、自然や名所旧跡等の魅力の案内人を養成することを進めている。本地区のまちづくりの実現により、北播磨の魅力は一層向上し、まちの魅力案内人の活動により中町を含む北播磨の魅力は全県下にアピールされるだけでなく、中町の活性化、さらには住民主体のまちづくりに繋がると考える。 	

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	556	交付限度額	222.4	国費率	0.4
---------	-----	-------	-------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

基幹事業		事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費	
事業	細項目					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分		
														事業費
道路		町道県民余暇村公園線	多可町	直	L=615m,W=6.0	H17年度	H17年度	H17年度	H17年度	23	23	23	0	23
道路		町道奥中7号線	多可町	直	L=65m,W=4.0m	H17年度	H17年度	H17年度	H17年度	9	9	9	0	9
道路		町道奥中1号線	多可町	直	L=475m,W=6.5m	H17年度	H17年度	H19年度	H19年度	33	33	33	0	33
道路		町道役場公民館線	多可町	直	L=130m,W=9.0m	H16年度	H19年度	H16年度	H16年度	6	6	6	0	6
道路		町道丘山渡瀬橋線	多可町	直	L=130m,W=8.7m	H16年度	H18年度	H16年度	H19年度	143	143	143	0	143
公園														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム		-			-									
地域生活基盤施設		-			-									
高質空間形成施設		-			-									
高次都市施設		-			-									
既存建造物活用事業		-			-									
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備		町営奥中団地	多可町	直	22戸	H16年度	H19年度	H16年度	H19年度	301	301	301	0	301
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										515	515	515	0	515
…A														
提案事業		事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費	
事業	細項目					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分		
														事業費
地域創造支援事業	コミュニティバス停留所整備	那珂ふれあい館停留所	多可町	直	1箇所	H18年度	H18年度	H18年度	H18年度	2	2	2	0	2
	公営住宅整備事業等	奥中団地	多可町	直	1箇所	H17年度	H19年度	H17年度	H19年度	39	39	39	0	39
事業活用調査														
まちづくり活動推進事業														
合計										41	41	41	0	41
													合計(A+B)	556
…B														

